

令和6年度 第3回市政モニターアンケート
安全安心街づくりに関する意識調査報告書

令和7年2月

仙台市市民局生活安全安心部市民生活課

1 調査目的

仙台市安全安心街づくり基本計画（第4期、令和3～7年度）における成果目標として、「防犯活動に参加又は参加意欲のある市民の増加」（令和7年度時点で「防犯活動に参加又は参加意欲がある」と回答する市民の割合が60%以上）を掲げており、市政モニターアンケートを通じて、市民意識を調査する。

2 調査対象

令和6年度市政モニター 399名

3 調査時期

令和6年11月21日（木）から令和6年12月6日（金）まで

4 調査実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

5 回収結果

有効回答票 337（回答率 84.5%）

6 集計結果の留意事項

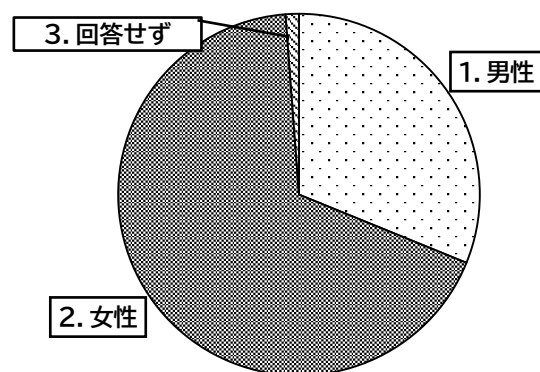
- ・複数の選択肢を選択する問いの回答割合は、設問項目毎の回答数を有効回答者数（n）で除したものとしている。
- ・集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入しているため、割合の合計が100%にならないことがある。
- ・自由記述については主なものを記載している。なお、句読点や固有名詞は、表現を統一するため回答原文の表現を一部修正している。

7 調査結果

I. あなたご自身とお住まいについて

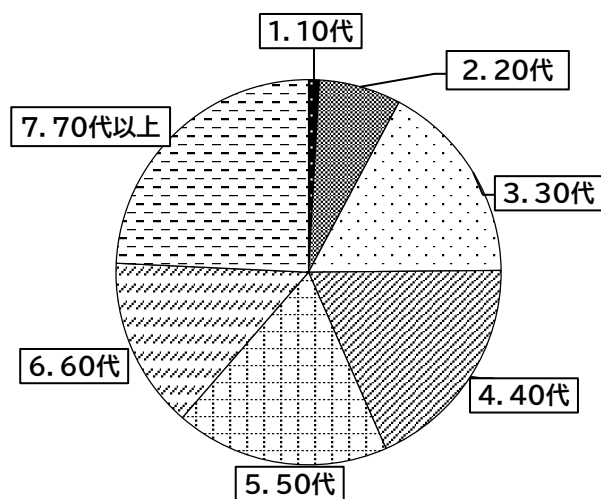
問1 性別 (n=337)

選択肢	回答数	割合
1. 男性	105	31.2%
2. 女性	228	67.7%
3. 回答せず	4	1.2%
合 計	337	



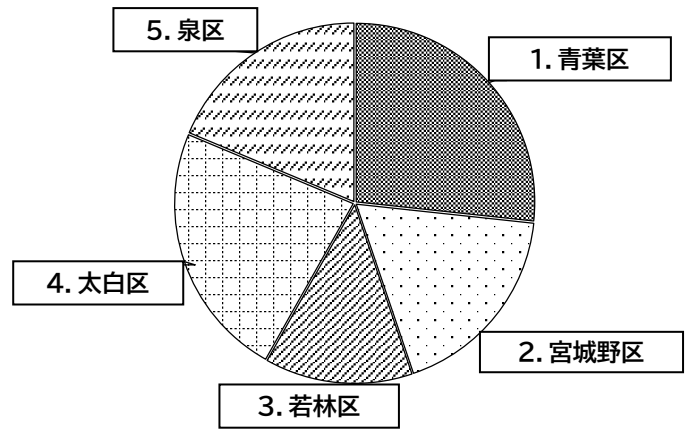
問2 年齢 (n=334)

選択肢	回答数	割合
1. 10代	3	0.9%
2. 20代	23	6.9%
3. 30代	57	17.1%
4. 40代	62	18.6%
5. 50代	60	18.0%
6. 60代	48	14.4%
7. 70代以上	81	24.3%
合 計	334	



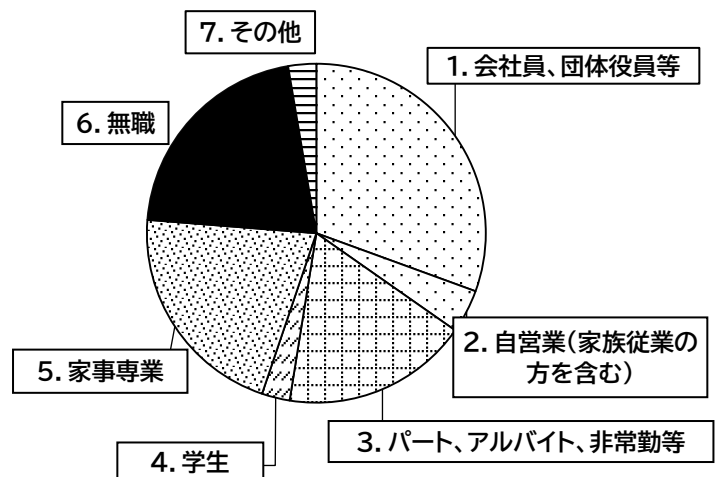
問3 居住地区 (n=337)

選択肢	回答数	割合
1. 青葉区	90	26.7%
2. 宮城野区	61	18.1%
3. 若林区	45	13.4%
4. 太白区	78	23.1%
5. 泉区	63	18.7%
合計	337	



問4 職業 (n=337)

選択肢	回答数	割合
1. 会社員、団体職員等	103	30.6%
2. 自営業 (家族従業の方を含む)	14	4.2%
3. パート、アルバイト、 非常勤等	60	17.8%
4. 学生	9	2.7%
5. 家事専業	71	21.1%
6. 無職	71	21.1%
7. その他	9	2.7%
合計	337	

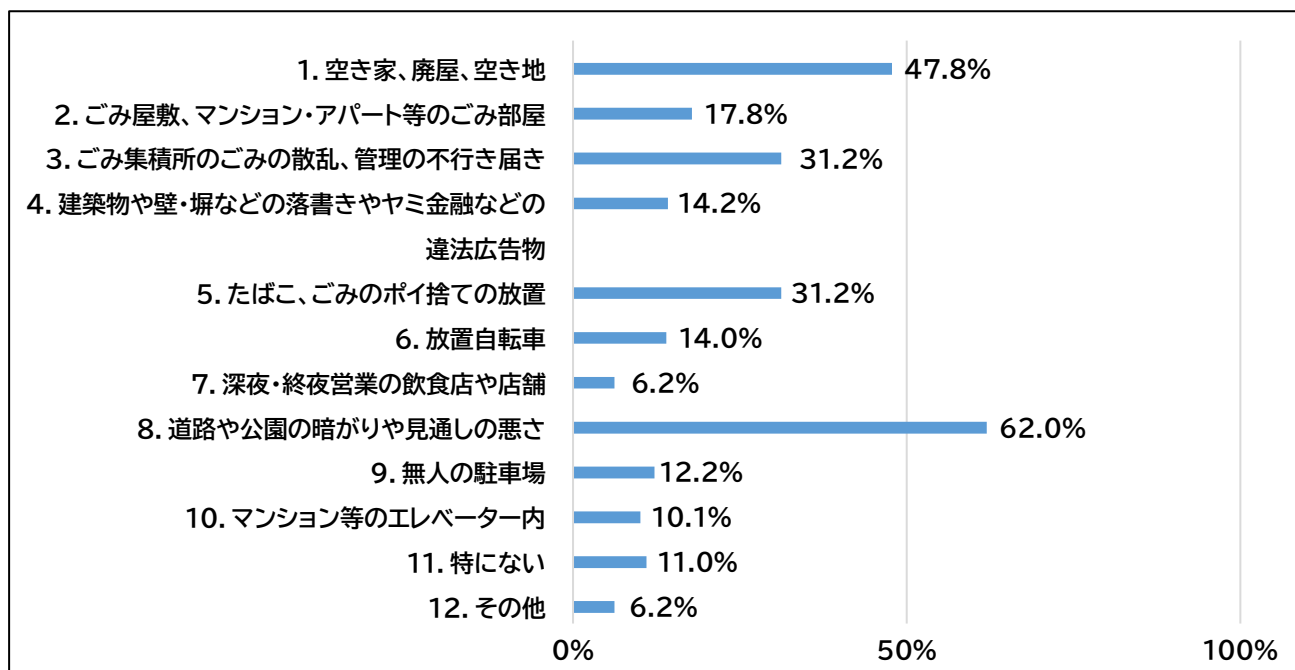


Ⅱ. 個人や地域の防犯対策についてお伺いします

問 25 あなたのお住まいの地域で、犯罪の発生を招くものとして不安に感じているものは、次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○) (n=337)

選択肢	回答数	割合
1. 空き家、廃屋、空き地	161	47.8%
2. ごみ屋敷、マンション・アパート等のごみ部屋	60	17.8%
3. ごみ集積所のごみの散乱、管理の不行き届き	105	31.2%
4. 建築物や壁・塀などの落書きやヤミ金融などの違法広告物	48	14.2%
5. たばこ、ごみのポイ捨ての放置	105	31.2%
6. 放置自転車	47	14.0%
7. 深夜・終夜営業(しゅうやえいぎょう※)の飲食店や店舗	21	6.2%
8. 道路や公園の暗がりや見通しの悪さ	209	62.0%
9. 無人の駐車場	41	12.2%
10. マンション等のエレベーター内	34	10.1%
11. 特にない	37	11.0%
12. その他	21	6.2%

※終夜営業：日没から明け方までの営業

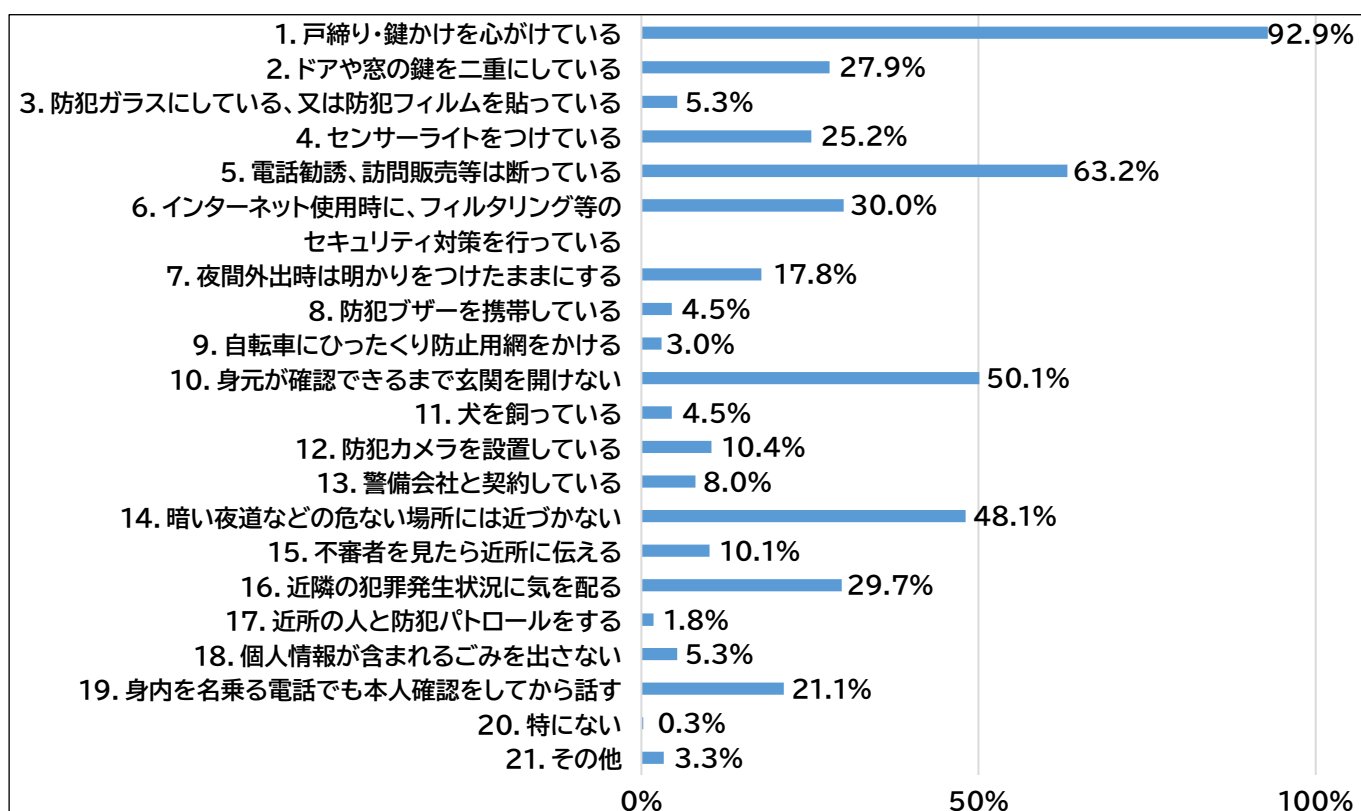


【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・ 深夜の高級車の路上駐車
- ・ 訪問販売や集会への誘い
- ・ 家の様子をつかがう目的で、工事業者等を装い訪問してくる者
- ・ 闇バイトによる強盗事件

問 26 あなたが犯罪被害に遭わないために、日頃から取り組んでいることは次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○) (n=337)

選択肢	回答数	割合
1. 戸締り・鍵かけを心がけている	313	92.9%
2. ドアや窓の鍵を二重にしている	94	27.9%
3. 防犯ガラスにしている、又は防犯フィルムを貼っている	18	5.3%
4. センサーライトをつけている	85	25.2%
5. 電話勧誘、訪問販売等は断っている	213	63.2%
6. インターネット使用時に、フィルタリング等のセキュリティ対策を行っている	101	30.0%
7. 夜間外出時は明かりをつけたままにする	60	17.8%
8. 防犯ブザーを携帯している	15	4.5%
9. 自転車にひったくり防止用網をかける	10	3.0%
10. 身元が確認できるまで玄関を開けない	169	50.1%
11. 犬を飼っている	15	4.5%
12. 防犯カメラを設置している	35	10.4%
13. 警備会社と契約している	27	8.0%
14. 暗い夜道などの危ない場所には近づかない	162	48.1%
15. 不審者を見たら近所に伝える	34	10.1%
16. 近隣の犯罪発生状況に気を配る	100	29.7%
17. 近所の人と防犯パトロールをする	6	1.8%
18. 個人情報が含まれるごみを出さない	18	5.3%
19. 身内を名乗る電話でも本人確認をしてから話す	71	21.1%
20. 特にない	1	0.3%
21. その他	11	3.3%

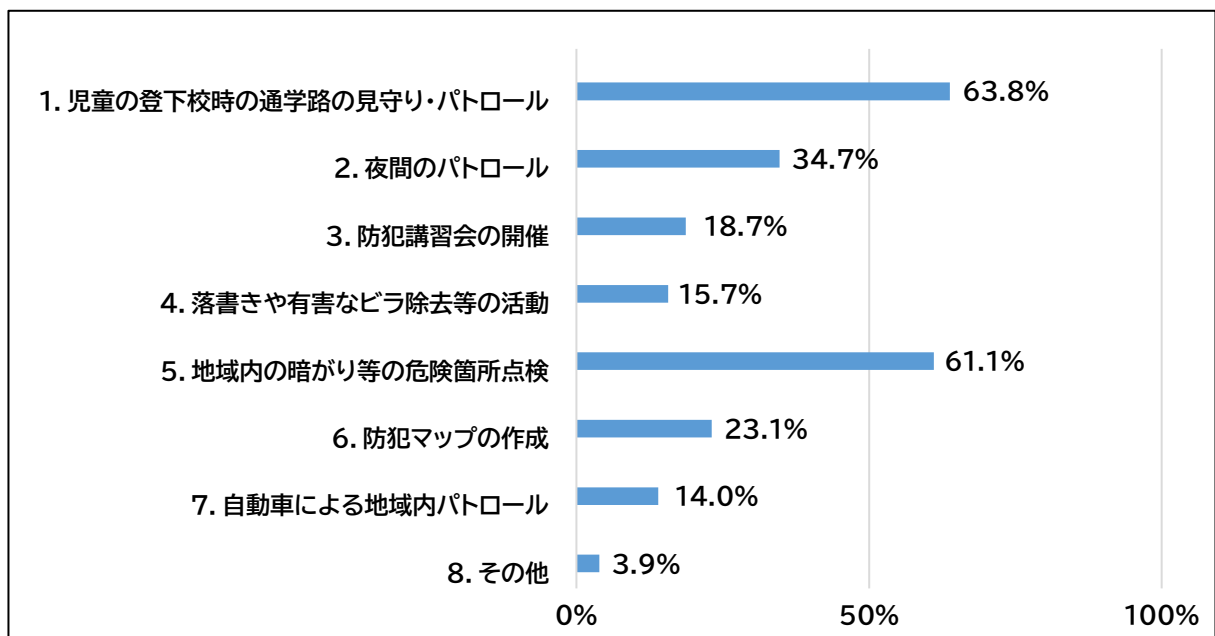


【「その他」の回答内容（一部）】

- ・エレベーターで知らない人と二人きりにならないようにする
- ・庭に砂利を敷く
- ・護身術を覚える
- ・ごみは回収時間ぎりぎりに出す
- ・朝と夕に家の周りをチェックする
- ・子どもだけで遊ばせない

問 27 あなたは、地域の防犯力を高めるために、地域でどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。（あてはまる番号3つまでに○）（n=337）

選択肢	回答数	割合
1. 児童の登下校時の通学路の見守り・パトロール	215	63.8%
2. 夜間のパトロール	117	34.7%
3. 防犯講習会の開催	63	18.7%
4. 落書きや有害なビラ除去等の活動	53	15.7%
5. 地域内の暗がり等の危険箇所点検	206	61.1%
6. 防犯マップの作成	78	23.1%
7. 自動車による地域内パトロール	47	14.0%
8. その他	13	3.9%

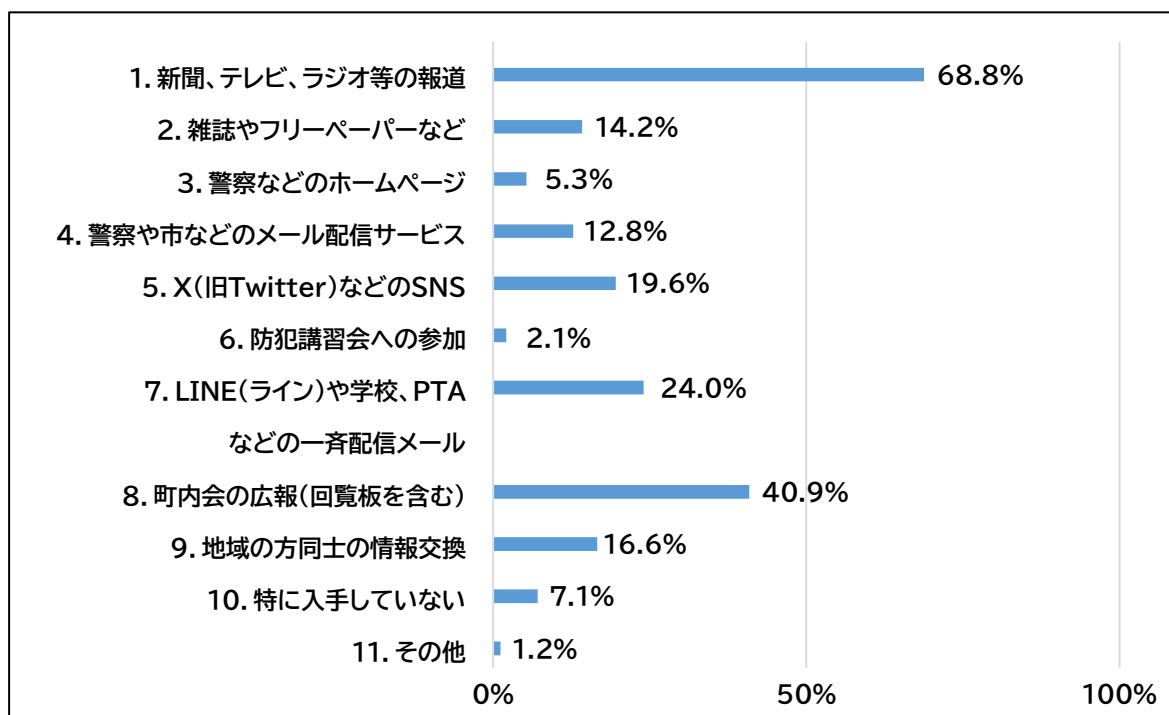


【「その他」の回答内容（一部）】

- ・闇バイト等怪しい訪問の情報伝達
- ・防犯カメラの設置を増やす
- ・警察官のパトロールを要請する
- ・登校班による集団登校
- ・ごみ集積所をきれいにする

問 28 あなたは、防犯に関する情報をどこから入手していますか。
 (あてはまる番号3つまでに○) (n=337)

選択肢	回答数	割合
1. 新聞、テレビ、ラジオ等の報道	232	68.8%
2. 雑誌やフリーペーパーなど	48	14.2%
3. 警察などのホームページ	18	5.3%
4. 警察や市などのメール配信サービス	43	12.8%
5. X (旧 Twitter) などの SNS	66	19.6%
6. 防犯講習会への参加	7	2.1%
7. LINE (ライン) や学校、PTA などの一斉配信メール	81	24.0%
8. 町内会の広報 (回覧板を含む)	138	40.9%
9. 地域の方同士の情報交換	56	16.6%
10. 特に入手していない	24	7.1%
11. その他	4	1.2%



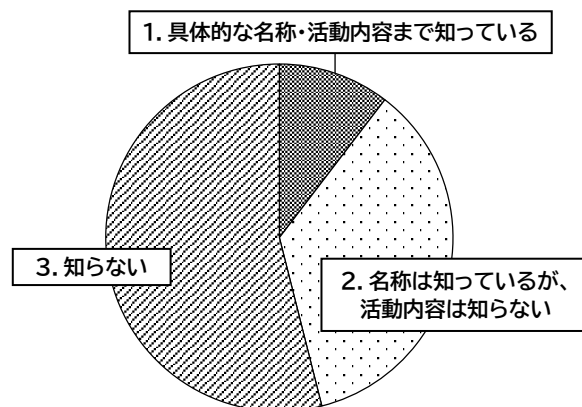
【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・ 防犯についての書籍
- ・ マンション内の掲示板

問 29 あなたがお住まいの地域の「防犯協会」という組織を知っていますか。

(あてはまる番号1つに○) (n=335)

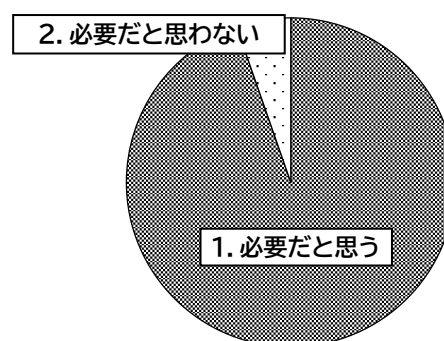
選択肢	回答数	割合
1. 具体的な名称・活動内容まで知っている	25	7.4%
2. 名称は知っているが、活動内容は知らない	109	32.3%
3. 知らない	201	59.6%
合計	335	



問 30 あなたは、地域の防犯活動は必要だと思いますか。

(あてはまる番号1つに○) (n=334)

選択肢	回答数	割合
1. 必要だと思う	317	94.1%
2. 必要だと思わない	17	5.0%
合計	334	

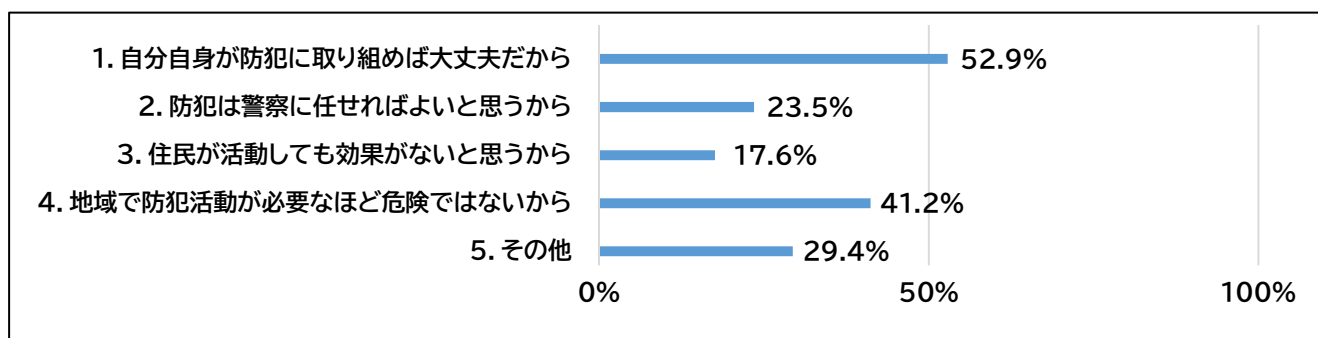


【問 30 で「2. 必要だと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問 31 地域の防犯活動が必要だと思わない理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○) (n=17)

選択肢	回答数	割合
1. 自分自身が防犯に取り組めば大丈夫だから	9	52.9%
2. 防犯は警察に任せればよいと思うから	4	23.5%
3. 住民が活動しても効果がないと思うから	3	17.6%
4. 地域で防犯活動が必要なほど危険ではないから	7	41.2%
5. その他	5	29.4%

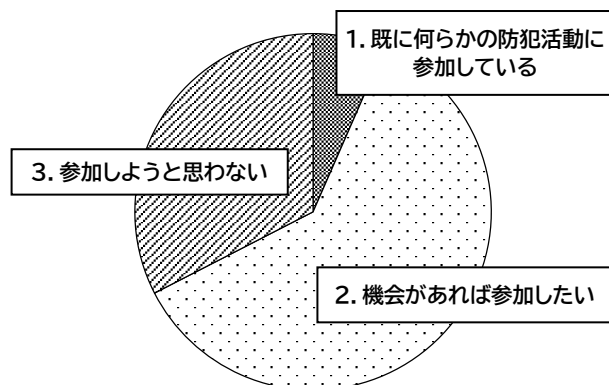


【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・高齢者が多い地域だと若い人の負担ばかり増えるから
- ・共助に頼りすぎてはいけないと思う

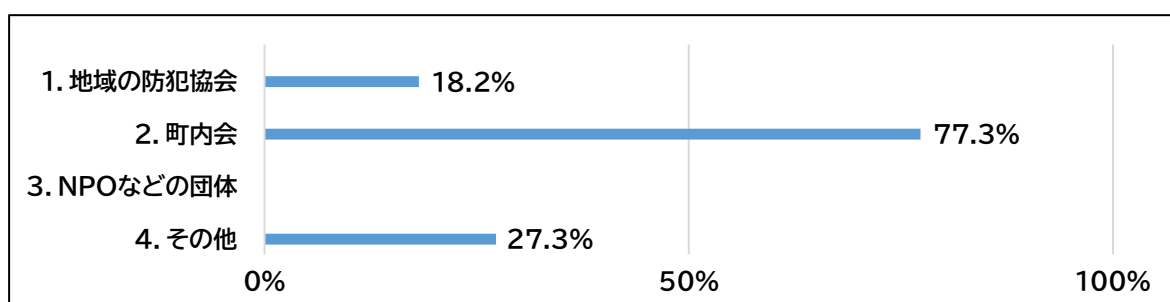
問 32 あなたは、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。
 (あてはまる番号1つに○) (n=335)

選択肢	回答数	割合
1. 既に何らかの防犯活動に参加している	22	6.5%
2. 機会があれば参加したい	204	60.5%
3. 参加しようと思わない	109	32.3%
合計	335	



【問 33~35 は、問 32 で「1. 既に何らかの防犯活動に参加している」と答えた方へおたずねします。】
 問 33 主にどのような団体の防犯活動に参加していますか。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=22)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の防犯協会	4	18.2%
2. 町内会	17	77.3%
3. NPOなどの団体	0	0%
4. その他	6	27.3%

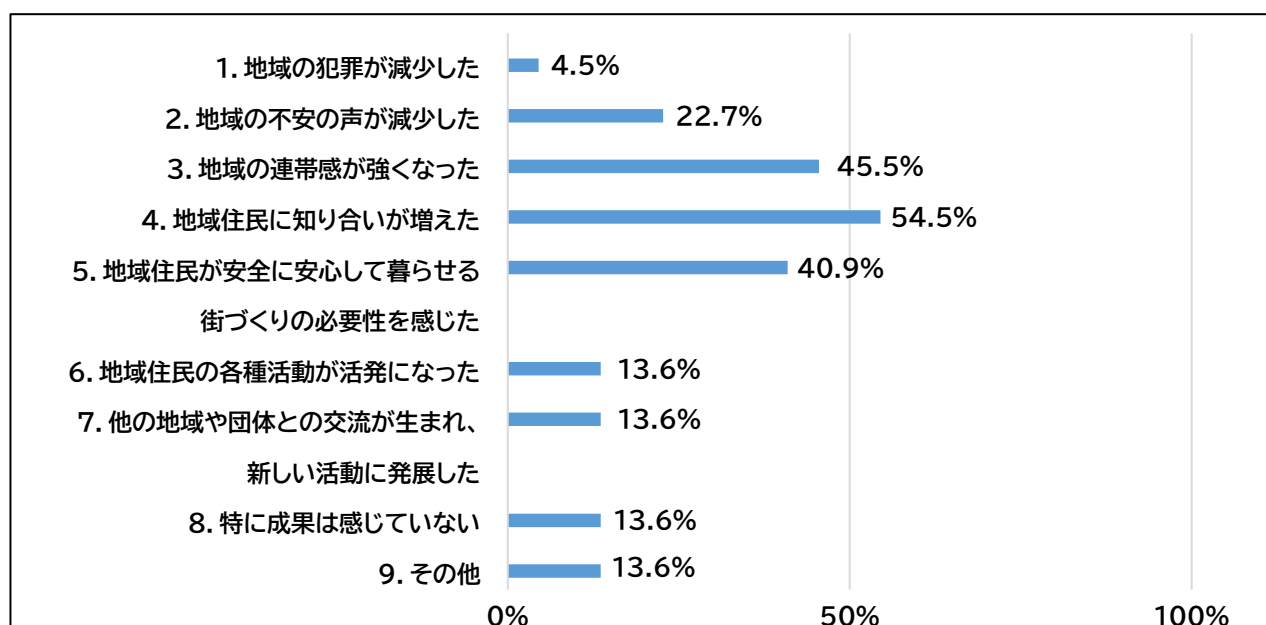


【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・アイ・アイ キンジョパトロール
- ・仙台市の学校ボランティア防犯巡視員
- ・交通指導隊
- ・子ども会

問 34 防犯活動に参加してどのような成果があったと感じていますか。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=22)

選択肢	回答数	割合
1. 地域の犯罪が減少した	1	4.5%
2. 地域の不安の声が減少した	5	22.7%
3. 地域の連帯感が強くなった	10	45.5%
4. 地域住民に知り合いが増えた	12	54.5%
5. 地域住民が安全に安心して暮らせる街づくりの必要性を感じた	9	40.9%
6. 地域住民の各種活動が活発になった	3	13.6%
7. 他の地域や団体との交流が生まれ、新しい活動に発展した	3	13.6%
8. 特に成果は感じていない	3	13.6%
9. その他	3	13.6%

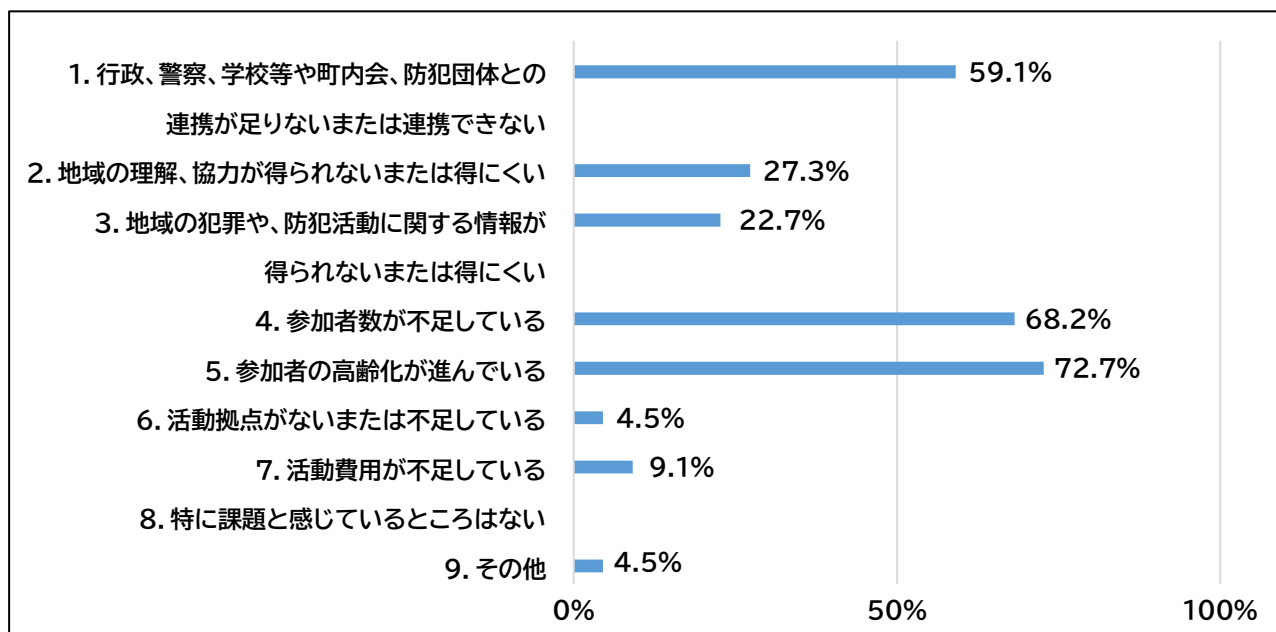


【「その他」の回答内容】

- ・実際に不審者の報告があり、対処してもらえた。
- ・成果については分からないが、自己啓発になった。
- ・防犯活動を積極的に実施している地域であることを発信していくことが重要

問 35 参加してみて感じた、防犯活動の課題をお答えください。
 (あてはまる番号すべてに○) (n=22)

選択肢	回答数	割合
1. 行政、警察、学校等や町内会、防犯団体との連携が足りない または連携できない	13	59.1%
2. 地域の理解、協力が得られないまたは得にくい	6	27.3%
3. 地域の犯罪や、防犯活動に関する情報が得られないまたは 得にくい	5	22.7%
4. 参加者数が不足している	15	68.2%
5. 参加者の高齢化が進んでいる	16	72.7%
6. 活動拠点が無いまたは不足している	1	4.5%
7. 活動費用が不足している	2	9.1%
8. 特に課題と感じているところはない	0	0%
9. その他	1	4.5%

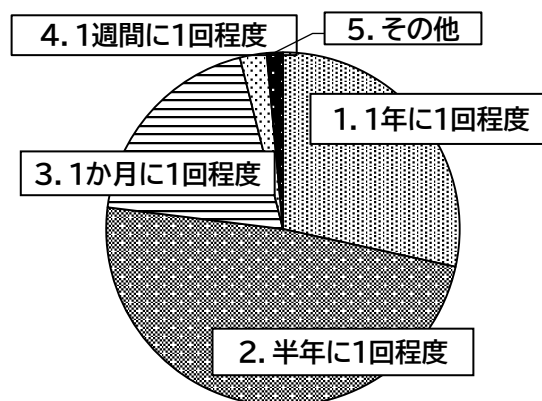


【「その他」の回答内容】

- ・できるときにできる人がパトロールをする仕組みなので負担が少なくてよい

【問 36、37 は、問 32 で「2. 機会があれば参加したい」と答えた方へおたずねします。】
 問 36 どのような頻度であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。
 （あてはまる番号1つに○）（n=204）

選択肢	回答数	割合
1. 1年に1回程度	58	28.4%
2. 半年に1回程度	99	48.5%
3. 1か月に1回程度	39	19.1%
4. 1週間に1回程度	5	2.5%
5. その他	3	1.5%
合計	204	

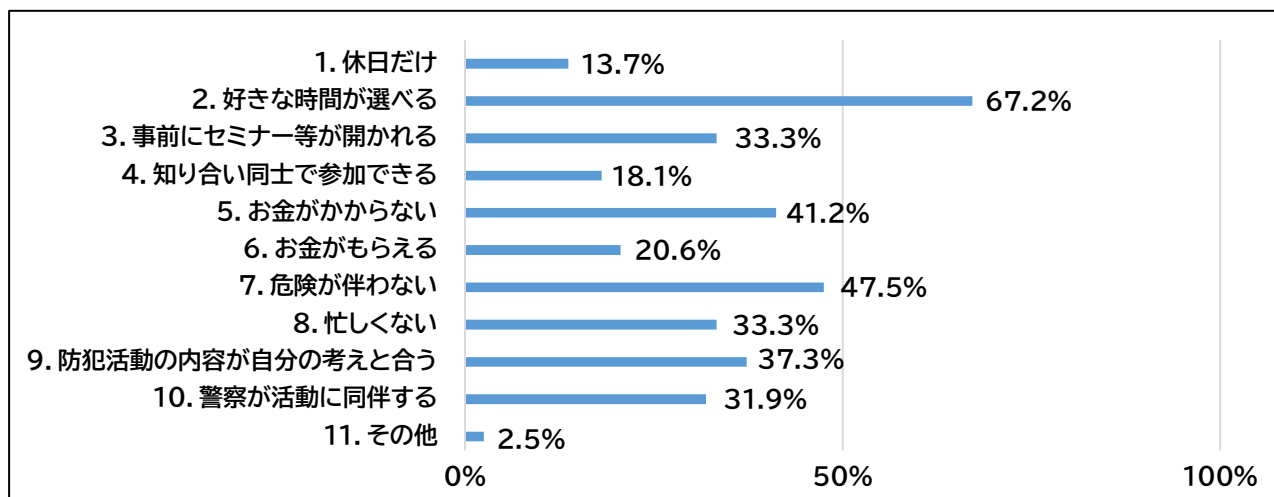


【「その他」の回答内容（一部）】

- ・子育てをしているので、無理のない範囲で日常的にできることがあれば参加したい。

問 37 どのような条件であればあなたの地域の防犯活動に参加したいと思いますか。
 （あてはまる番号すべてに○）（n=204）

選択肢	回答数	割合
1. 休日だけ	28	13.7%
2. 好きな時間が選べる	137	67.2%
3. 事前にセミナー等が開かれる	68	33.3%
4. 知り合い同士で参加できる	37	18.1%
5. お金がかからない	84	41.2%
6. お金がもらえる	42	20.6%
7. 危険が伴わない	97	47.5%
8. 忙しくない	68	33.3%
9. 防犯活動の内容が自分の考えと合う	76	37.3%
10. 警察が活動に同伴する	65	31.9%
11. その他	5	2.5%

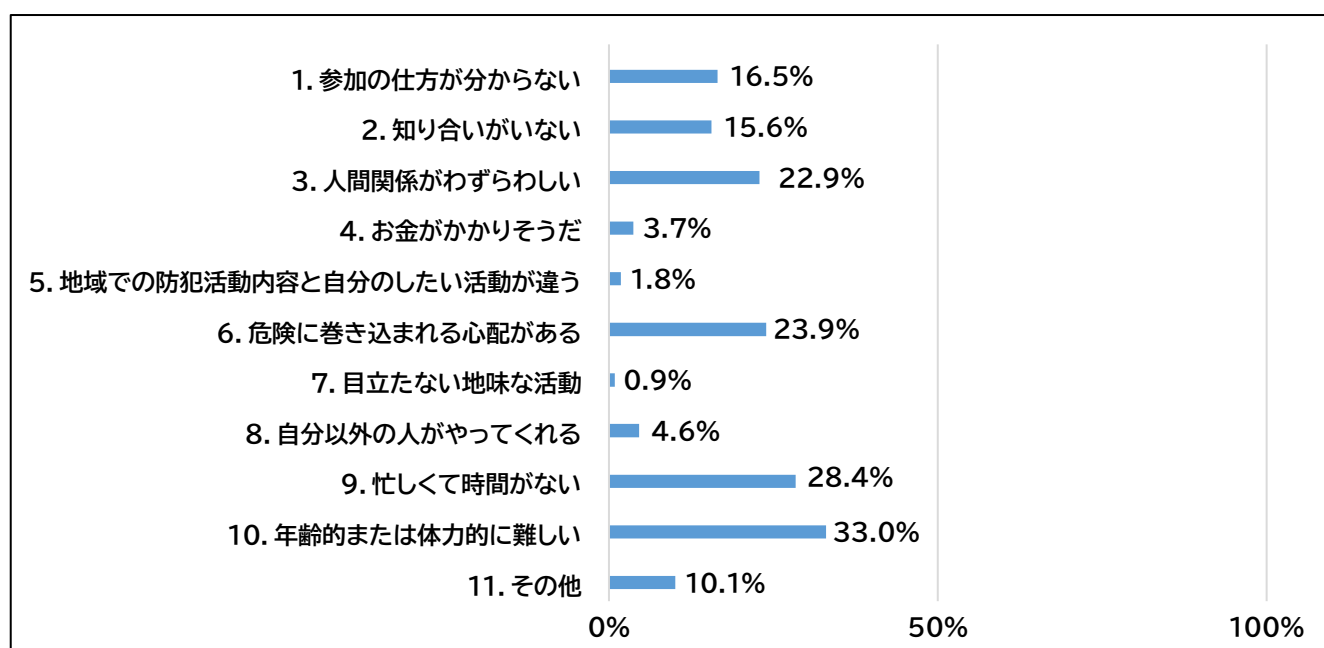


【問 32 で「3. 参加しようと思わない」と答えた方へおたずねします。】

問 38 参加しようと思わない理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○) (n=109)

選択肢	回答数	割合
1. 参加の仕方が分からない	18	16.5%
2. 知り合いがいない	17	15.6%
3. 人間関係がわずらわしい	25	22.9%
4. お金がかかりそう	4	3.7%
5. 地域での防犯活動内容と自分のしたい活動が違う	2	1.8%
6. 危険に巻き込まれる心配がある	26	23.9%
7. 目立たない地味な活動	1	0.9%
8. 自分以外の人がやってくれる	5	4.6%
9. 忙しくて時間がない	31	28.4%
10. 年齢的または体力的に難しい	36	33.0%
11. その他	11	10.1%



【「その他」の回答内容 (一部)】

- ・子ども一人を家に置くのは心配だから
- ・責任問題になったら面倒だ
- ・意義が見いだせない。やっている感を出すパフォーマンス？
- ・住んでいる地域は安全だから

問 39 防犯や安全安心街づくりについての意見を、ご自由にご記入ください。

※内容別に分類し、主なものについてまとめさせていただきました。今後の業務運営の参考とさせていただきます。

【街灯や防犯カメラの設置に関すること】

- ・暗い道路が増えているように感じる。従業員が帰った後のビルなど連れ込まれそうな場所は多いと思う。街灯を増やしてほしい。
- ・夜間照明を多くしてほしいと思います。私の地域は照明が少なく、家に辿り着くまでの間の暗さが気になります。
- ・防犯監視カメラが役立つように思う。ある程度の監視社会は今後必要ではないかと思う。できるだけ防犯監視カメラの公費での設置を希望する。
- ・暗い道への街灯設置や一部補助による「人感知ライト」と「録画可能機器」の設置推進。
- ・仙台市の LINE を友だち登録しています。防犯情報の多さに日々驚きます。発生時間を見ると夜が多いので、夜間の対策は必要だと思います。電灯や防犯カメラが増えることを願っています。

【警察によるパトロールや見守り活動に関すること】

- ・事件が発生してからでは大変遅すぎるので、予防対策に力を注ぐべき。
- ・私が住む地域では昼夜問わずパトカーが巡回しているようです。この点はとてもありがたいと思っています。
- ・個人の防犯意識が不足していると感じます。暗い夜道の一人歩きや女性の一人歩きを見るたびに恐怖を感じる。開かれた交番になってほしい。敷居が高いと感じます。

【町内会や地域との連携、コミュニケーションの強化に関すること】

- ・まずは町内会などの小さなコミュニティから情報交換や共有を行うことがはじまりではないかと考える。
- ・新たに防犯活動のタスク（地域での活動等）が増えるとなると負担に感じるように思いますが、既存の町内会や学校の子ども会活動に組み込む等、無理のない範囲で広がったらよいと思いました。
- ・散歩するときに町内会のビブスなど着用して回るだけでも抑止力になるのではないかと思います。
- ・ごみ集積所が近くにあるので週3回ネットをおろして、ゴミが散らかっているとき掃除をしています。

- ・地域の方が、朝夕の時間帯に目立つ蛍光グリーンジャケットで防犯パトロールをしてくださっているのを見かけたことがあり、心強く感じました。
- ・住民によるパトロールは町内会が年数回自主的にしているが、役員だけの行動になっている。権限などの課題はあると思うが、ある程度専門的に行動する体制を作れないか。指定パトロール員（住民であること、若干の報酬あり、単独・複数あり、日々交代制）など。とにかく不定期にパトロールされることで予防はできると思います。

【子どもの安全に関すること】

- ・小学生の子どもがおり、安全に登校できるよう見守っている状態です。カーブミラーや防犯カメラなどもっと増えると安心かなと思います。
- ・妻が他県出身だが、登校班がないことに大変驚いている。事故に遭わないためにはもちろんだが、防犯の観点でも非常に有効的な取り組みだと感じる。ぜひ仙台市でも導入してほしい。
- ・Xで中国人が小学生の下校シーンを撮影し追いかける動画を見て非常に不安になった。もっと危機感を持ってほしい。何かあってからの対応では遅いと思う。
- ・児童の登下校時の事件や事故をなくす対策に力を入れてほしいです。

【環境整備に関すること】

- ・近隣住民で日々怖い思いをしても管理会社が対応してくれず、そういう人が野放しでは安心して街を歩けない。児童館周辺が防犯マップの「不審者が多い」箇所となっている。
- ・賃貸住宅に住んでいるので、問 26 の犯罪被害に遭わないために取り組めることに限りがある。大家に防犯意識があればと思うこともある。
- ・明るく街全体が防犯対策を強化できるといい。企業で可能な防犯対策を協力して提案していける場を設けてほしい。

【情報発信や広報に関すること】

- ・仙台市は安全だと思い生活している人が多いと思うので、注意喚起のラジオや SNS を増やしてほしいです。
- ・仙台市の安全安心街づくり基本計画をもっとアピールする必要があるかと思います。
- ・防犯協会の宣伝が足りないと思う。
- ・防犯関係者をつながりたくてもきっかけが分かりません。入口が限られていると感じます。
- ・地方都市でも物騒な事件が増えている昨今、犯罪を起こさせない仙台の街になるようスローガンを掲げて取り組んでいただきたい。

【意識啓発に関すること】

- ・今の町内会は活発に街づくりをしているが、高齢化により人がいなくなることを心配している。今が考えどころ。リードしてください。
- ・近所付き合い等が希薄になっているので情報共有が難しい。住んでいる地域によって外国人の往来が激しく、グローバル化と安全安心街づくりの共存を深く考えなければと思う。
- ・ポイ捨てやゴミの散乱は防犯意識が欠如しており、本当にだらしのない一言に尽きます。この点はコロナ禍になってから目立ってきたように見受けられます。何かよい解決策はないのでしょうか？政令市でもあるのでこれは重大なことだと思います！！
- ・防犯の第一は教育。くさいものに蓋をする考えの教育委員会では何も解決しないし、良くはならない。